

学力向上アクションプラン

横浜市立上白根小学校
令和4年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
<p>「ともに生きる子 -信頼と安心と笑顔の学校-」</p> <p>学校のあいことば「かながえよう！ かかわろう！ かがやこう！」</p> <p>(知)よさを発揮し粘り強く取り組む子 根のまちに生き ともに歩む子 (徳)自分も友達も大切にする子 学び合い高め合う子 (体)心と体を健やかに育む子</p>	<p>〈自分で考え 判断し 行動する力〉</p> <p>〈人と豊かに関わり つながる力〉</p>

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子ども一人ひとりが自分の考えをもち 自分自身のよさを発揮し、まちとともに歩む学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年目は失敗を恐れず、挑戦する気持ちを育てます。 ・2年目は他者意識をもって自分も相手も大切にする気持ちを育てます。 ・3年目は、自分の考えをもちそれを表現できる力を育てます。 ・3年間を通して、まとのつながりを大切にし、まちを愛し、まちから必要とされる関係を構築します。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
<p>授業力向上</p>	<p>①学力状況調査の結果をもとに児童の実態を分析し、授業づくりや朝学習の内容に反映させる。②表現する場を設けるだけでなく、児童が考えるのを待つ授業を展開する。③発達段階や学年の実態に応じて年間指導計画を見直し、児童が学ぶ必要感を感じるカリキュラム作りを目指す。</p>
<p>担当 学力向上</p>	

(4) 本校の学力面における傾向

【学習意欲】

- 学習に対して後ろ向きな感情をもつ児童が多い。
- 自信のない児童が多く、正解をすぐに知ろうとする傾向がある。
- 「授業がわからない」と思う児童はほぼおらず、おおむね進んで取り組んでいるという意識はもっている。
- 学習したことを、生活に還元する方法や意義を捉えられていない児童が多い。
- 失敗してもやり遂げようと努力したり、自分のやったことのないことや興味のないことでも挑戦しようとする事への意識が低い。

【目に見える学力】

○全体的に市の平均学力よりも低い傾向にあるが、特に知識・技能面よりも、思考・判断・表現面の力が低い。

【国語の例】

- ・複数ある情報を比べたり、条件に合うものを選んだりすること
- ・要約すること

【算数の例】

- ・教科書ではやったことのない形で出題された平面図形の問題や、複数の図形の構成要素をつなげて考える問題

【学習習慣】

- 読書に費やす時間は、比較的多い。
- 家庭での学習時間は、市の平均よりも少ない傾向にある。